

# Children's Ministry & Parenting Seminar <児童へのミニストリー・親業セミナー>

## CFNJ CMP セミナー



### 大人と子どもに変革をもたらす聖書的真理との出会い!

次世代が王なるイエス様をお迎えする備えをするために聖霊様と共に心を一つにし手を取り合っていきましょう!

- **とき** / 2007年6月16日(土) AM9:30~PM3:00
- **ところ** / CFNJキッズホール
- **参加費** / 全参加 / 3000円 (昼食込み)  
部分参加 / 1セッション / 1500円

<プログラム> <申し込み受付中!>

午前の部	午後の部
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 9:30~開場</li> <li>■ 10:00~12:00 第1セッション</li> <li>● テーマ / 『子供と聖霊』</li> <li>講師 / アルマ・ベルメホ師</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 12:00~昼食</li> <li>■ 13:00~15:00 第2セッション</li> <li>● テーマ / 『愛のこもったしつけ』</li> <li>講師 / ダイアン・グリコ師</li> </ul>

※お子様同伴の方には、聖書学院生によるチルドレンズミニストリーがあります。当日、10時~12時と13時~15時迄。(感謝献金制となります) 事前にお申し込み下さい。

<セミナーテーマ> 「子供と聖霊」

- ・聖霊様とはどのようなお方か
- ・すべての信者における聖霊様の働き (実際に子供が聖霊に満たされる映像・画像を見ていただきます)
- ・聖霊のバプテスマ



児童伝道ミニスター アルマ・ベルメホ師

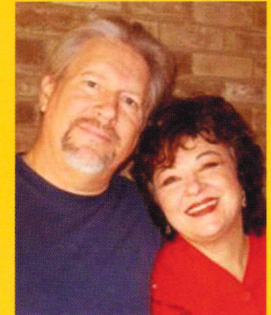
<セミナーテーマ> 「愛のこもったしつけ」

- ・怒りに対する「聖書的な解決」
- ・いかにして怒りが反抗へと進むのか?
- ・いかにして信仰を持つ大人が子どもの永遠の未来に違いをもたらすことができるか?



CMPコース学部長 ダイアン・グリコ師

## 「カレイドスコープ (万華鏡) 特別セミナー」



トム&レイアナ・フィールズ夫妻

「カレイドスコープ」(万華鏡と言う意味)とは、アメリカテキサス州ダラスの「トム&レイアナ・フィールズ夫妻」が始めた、芸術を通して礼拝し、伝道し、宣教をするミニストリーです。

- **内容**: アウトリーチで芸術を用いる事についての教え。ヒップホップダンス、人間ビデオ(寸劇)フラッグほか
- **とき**: 6月24日(月)~29日(金) 午後3時~5時
- **ところ**: CFNJ 聖書学院ホール
- **受講料**: 1時間 / 1,000円 (参加ご希望される方は、事前に学院にお申し込み下さい。)



宗教学人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校

## CFNJ 聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157  
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

- HP: www.cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688
- e-mail: office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文



メッセージ / 「治める者になる」  
稲福エルマ師

# CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン 聖書学院 2007.6.7月号 NO.123

「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が、この世に生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。」  
ガラテヤ二章二十節



入学式ゲストスピーカー

# 「治める者になる」

## 兄が弟に仕えたように

新宿シャローム教会主任牧師・学院顧問 稲福エルマ師

## 罪の奴隷から、義の奴隷へ

「あなたがたはこのことを知らないのですか。あなたがたが自分の身をささげて奴隷として服従すれば、その服従する相手の奴隷であって、あるいは罪の奴隷となって死に至り、あるいは従順の奴隷となって義に至るのです。」ローマ書6章16節

このみことばが教えていることは、私たちは皆、何かの奴隷であるということです。それが悪習慣や罪、肉の性質であるかもしれませんが、しかし、イエス・キリストを見いだすなら、十字架の贖いの御業を心から喜んで受け入れ、罪を悔い改め、赦しを求めらば、その瞬間から私たちは罪の奴隷から、義の奴隷(神様の奴隷)になることができます！ただし、生活の歩みの中で罪を犯したりするとき「やっぱり自分はダメだ。自分は神様に従っていない。先生は勝利者だと言っただけ、自分はそれができない」と思ってしまうことが、それはサタンの嘘です！確かに私たちは弱く失敗しますが、いつでも私たちは「イエス様！」と叫ぶならば、心から悔い改めさえすれば、その瞬間から私たちはまた神様の義の奴隷となり、神様の勝利の中を歩むことができます！

「あなたがたにある肉の弱さのために、私は人間的な言い方をしています。あなたがたは、以前は自分の手足を汚れと不法の奴隷としてささげて、不法に進みましたが、今は、その手足を義の奴隷としてささげて、聖潔に進みなさい。罪の奴隷であった時は、あなたがたは義については、自由にふるまっていました。」ローマ6章19節-20節

私たちはイエス様を通して、罪の奴隷の生活から王様に生まれ変わって、人生において治める者となることができます。

「もしひとりの人の違反により、ひとりによって死が支配するようになったとすれば、なおさらのこと、恵みと義の賜物とを豊かに受けている人々は、ひとりの人イエス・キリストにより、いのちにあって支配するのです。」ローマ5章17節

かつては、罪により死が支配していました。悪魔が私たちを奴隷にし、私たちをいじめ、苦しめ、告発していましたが、私たちの努力によってではなく、行いによってでもなく、賜物としてイエス様を信じた瞬間に、私たちに義が与えられました。恵みによって私たちは支配する者にされたのです。「ひとりの人イエス・キリスト」により、いのちにあって、私たちは奴隷ではなく、支配する者、治める者になることができます。

「それは、罪が死によって支配したように、恵みが、私たちの主イエス・キリストにより、義の賜物によって支配し、永遠のいのちを得させるためなのです。」ローマ5章21節

かつては罪と死が私たちを支配していましたが、神様の計画は、私達の善行によってではなく、一方的にただ信じることによって、罪を認め、自分では何もできないことを認め、神様に叫び求めることによって、義の賜物を受けて支配する者になることができます。

## 兄が弟に仕える

すると主は彼女に仰せられた。「二つの国があなたの胎内にあり、二つの国民があなたから分かれ出る。一つの国民は他の国民より強く、兄が弟に仕える。」創世記25章23節

この預言はイサクの妻リベカに対して語られました。そして、リベカが身ごもった時、胎には双子がおり、この双子について「二つの国民があなたから分かれ出る。一つの国民は他の国民より強く、兄が弟に仕える。」と預言されました。今でも少し日本の社会で慣わしが残っていますが、聖書の時代には兄弟が生まれると、長男に権威、権利が与えられました。「長子の権利」という表現が使われますが、権利が特別に長男に与えられていたのです。ですから、兄が弟を支配し、弟が兄に仕えるという習慣、考え方になっていたのです。ところが預言の中で神様は、逆に兄が弟に仕えると言われました。実は、当時、兄が弟を支配することが習慣となっていました。聖書に出てくる双子や兄弟たちの場合は、ほとんどが逆転されているのです。弟が兄よりも優れた者になる、長子の権利が弟に与えられるようになるケースがありました。ヨセフの場合、長男ルベンが失格となり、夢の中でヨセフが支配する者となり、兄がヨセフに仕える者となると語られ、ダビデの場合も、兄弟たちが末っ子、王ダビデに仕えました。このように同じパターンが他にも繰り返されていますが、長男が弟に仕えるようになるのはどうしてでしょうか？

## 二つの誕生

イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国にはいることができません。肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。」ヨハネ3章3節、5節、6節

実は、ここにもイエス様は二つの誕生があることを教えておられます。一つ目の誕生は「肉の誕生」です。私たちの体が、赤ちゃんとしてこの世に誕生することです。二つ目の誕生は「霊の誕生」です。イエス様を信じた瞬間に、新生体験をします。これが二度目の誕生です。それは肉体ではなく、霊の出産なのです。ですから、私たち自身の中に、実は二つの誕生があるのです。言い換えれば、私たち自身の中にお兄さんもいれば弟もいるのです。最初に生まれた長男は「肉の性質」のもので、後で生まれた弟が「霊の性質」です。キリスト・イエスの種として生まれ変わった、その新しい人が弟として生まれてきたのです。神様は私たちが義の中を歩んで、勝利の人生を体験することを願っていますが、「私には、自分のしていることがわかりません。私は自分がしたいと思うことをしているのではなく、自分が憎むことを行っているからです。」と、ローマ書7章15節にあるように、このような葛藤が私たちの生活の中であります。そして、場合によっては失望落胆し、諦め

て信仰を捨てて世の中に戻ってしまいます。しかし、神様は弟がお兄さんに勝利することを定めておられるのです！どのようにして可能になるのでしょうか？イエス・キリストの贖いによって、十字架を通してです！

あの使徒パウロもローマ書7章24節で、「私は、ほんとうにみじめな人間です。だれがこの死のからだから、私を救い出してくれるのでしょうか。」と、救われた後、聖霊のバプテスマを受けて後に告白しているのです。自分を見るならば、誰でも「みじめな人間です！」とパウロと同じように感じるでしょう。自分の行い、すべてが自分にかかっているように自分を見つめるならば敗北です。なぜなら私たちは失敗だらけだからです！しかし、イエス様を見上げるとき、十字架を告白するとき、イエス様を求めるときにペテロと同じようになります。ペテロは「イエス様信じます！イエス様ありがとうございます！」と海の上を歩き始めました。ところが、周りを見て、波や嵐や雨風に目を向けると沈みそうになりました。そして、もう一度イエス様に目を向けたときに、サッと引き上げられて、また海の上を歩くことができるようになったのです。私たちもイエス様を見つめ、十字架を告白して、イエス様に祈り求めるならば、勝利することができるようになるのです！アーメン！

## カインとアベル

カインはアベルに対して、妬みと怒りを持ち殺してしまいます。私たちの「肉の性質」、最初に生まれた私たちの中にある古き人は、この新しい人、キリストの性質、霊の人を憎んで何とか滅ぼそうとしていることを見ることができます。イサクとイシュマエルの場合、イシュマエルは長男として生まれ、その後イサクが生まれましたが、イシュマエルはイサクをいじめました。ですからいじめの問題は新しい最近の問題ではなく、大昔に起きていた問題です。私たちの古き人はいつも新しい霊の人をいじめ、「おまえはダメだ、弱い、何もできない」といつも告発します。ですからあなたの心にそのような思いが浮かんでくるなら、それはイシュマエルからの思いです。絶対にそのような声に耳を傾けてはいけません。アブラハムがイシュマエルとお母さんのハガルを家から追い払ったように、その声を拒んで追い払わなければなりません！

## エサウとヤコブ

エサウとヤコブの場合についても、「兄が弟に仕えるようになる」と預言されたことを信じましょう！あなたの中にある「霊の人」聖霊が、世の中に働いているあらゆる罪の性質に必ず打ち勝つようになるのです！

私たちが人生において支配するものとなりますが、それは私たちの内にある、二度目に生まれ変わったイエス・キリストの性質によって、私たちは治める者になることができます。

## エリアブとダビデ

兄のエリアブは、ダビデが人々と話しているのを聞いた。エリアブはダビデに怒りを燃やして、言った。「いったいおまえはなぜやって来たのか。荒野にいるあのわずかな羊を、だれに預けて来たのか。私には、おまえのうぬぼれと悪い心がわかっている。戦いを見にやって来たのだろうか。」サムエル記17章28節

ここでエリアブの中に、弟ダビデを軽蔑する性質を見ることができます。そしてエリアブは他のイスラエルの軍隊と同じように、ゴリヤテが出てくると怖がって逃げています。しかし、ダビデの性質は「このイスラエルをなぶる、無割礼のペリシテ人とは何者か！」という、恐れなく、勝利者の心と信仰です。このダビデの性質を神様が私たちにも与えてくださっているのです。生まれ変わった新しい人の中にはイエス・キリストの性質が宿っています。あなたがイエス・キリストを信じ、生まれ変わっているならば、あなたの中にも素晴らしい力と使命が与えられています。私たちはエリアブのような肉の古い性質に慣れてしまい、肉の声に支配されて、みことばや神様の力、自分を否定し、日本にリバイバルが来るということも否定して惑わされてしまいます。しかし、私たちはそうであってはなりません。神様のご計画はお兄さんに打ち勝つことです！

しい力と使命が与えられています。私たちはエリアブのような肉の古い性質に慣れてしまい、肉の声に支配されて、みことばや神様の力、自分を否定し、日本にリバイバルが来るということも否定して惑わされてしまいます。しかし、私たちはそうであってはなりません。神様のご計画はお兄さんに打ち勝つことです！

## マナセとエフライム

創世記41章51節、52節にあるように、ヨセフは自分の子供マナセに「忘れる」、エフライムには「実る」と名付けました。この名前には大切な原則があります。お兄さんがヨセフにしたこと、ポティファルの妻が自分にしたこと、献酌官長の夢を解き明かし、釈放されたのに自分のことを忘れてしまったことなど、ヨセフがこれらのことを覚えているかぎり、怒りがよみがえり、赦さない。しかし、神様の御手の中にすべての支配があることを認め忘れることによって、ヨセフは豊かな実りを体験することになりました。皆さん、忘れること、手放すこと、神様に委ねることが大切です！そして伝道による豊かな実、御霊の実を結びたいのです！しかし、イエス・キリストの性質に変えられなければならないのです。

創世記48章では、ヤコブの名前が変わって「イスラエル」になっていますが、父イスラエルが年をとって召される前、ほとんど目が見えなくなっているとき、ヨセフが二人の子供を父の元へ連れてきました。そして、エフライムを自分の右手にとって、イスラエルの左手に向かわせ、マナセを自分の左手にとって、イスラエルの右手に向かわせました。右手には長男にふさわしい「より強い」という意味がありますが、どうして次男のエフライムを自分の右手において、長男のマナセを自分の左手においてのでしょうか？それは、父イスラエルの右手の前に長男マナセが立つようになるからです。ヨセフは「長男の祝福は長男に」、「次男の祝福は次男に」与えられるように立たせたのです。しかし、イスラエルは右手を伸ばして、弟であるエフライムの上に置き、左手を長男であるマナセの上に置いたのです。マナセが長子であるのに、イスラエルは手を交差して置きました。ここに重要なポイントがあります。いつも長男(古い性質、肉の性質、罪、悪魔)は、「おまえはダメだ！おまえはできない！おまえは弱い！」と言って私たちをいじめますが、どのようにしてこれに勝つことができるでしょうか？その勝利の秘訣は、イスラエルが手を交差して、右手を弟のエフライムの上に置いたように、交差して祝福の祈りをしたことにあります。交差するなかで私たちは何をみいだすことができますか？そうです！イエス・キリストの十字架を見いだすことができます！十字架無くして、私たちもお兄さんに勝つことはできません。どんなに善いことをしようとしてもできないのです。悪いことを止めようとしてもやってしまう。そのようなみじめな人生になってしまうのです。しかし、イエス・キリストに目を上げるとき、十字架を通してイエス様はすべての罪を赦してくださるとい、すばらしい贖いの御業を備えてくださるのです。そして私たちは生まれ変わり、義の賜物が与えられ、罪に対して勝利することができるようになりますと信じることによって、交差の原則が働くようになるのです！ハレルヤ！

## 治める者となる

「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が、この世に生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によってなのです。」ガラテヤ2章20節

そうです！自分の失敗、自分の弱さを見るのではなく、お兄さんが語るいじめのことばに耳を傾けるのではなく、私の古い人、古い性質は、イエス・キリストが十字架で引き取って下さり、代わりに私に勝利を与え、王様になる特権を私たちに与えてくださったと信じるのです！イエス様に目を向けるなら、私たちは治める者になることができます！



(4)

# 2007年度 新入生の紹介

(5)



■去る4月16日(月)9時より、2007年度の入学式が執り行われました。全国各地から17名の新生、及び、5名の進級生が集い、在校生あわせて30名が新たな学びをスタートしました。ゲストに新宿シャローム教会の稲福エルマ師をお迎えして、温かな雰囲気の中で、神様のご臨在に満ちた素晴らしい時となりました。これから全員、生活を共にしながら互いに切磋琢磨し、キリストにある成熟を目指して歩んでいきます。学生一人一人の成長と必要の為、ぜひお祈りくださいますようお願いいたします。



澤村 愛  
(富山県・2年コース)

■ハレルヤ！主の導きにより主の御名をほめたたえます。学院に導かれるまでに多くの方々の祈りと励ましがありました。すべてのことに心から感謝しつつ、主の訓練を受け、前進していきます！



渡邊真仁  
(福島県・2年コース)

■ハレルヤ！主をほめたたえます。まず、学院へ導き入れて下さった神様を心から感謝します。そして、聖書や祈りを通して私を支えて下さった母教会の牧師先生はじめ教会の皆さんを感謝します。まだ学院生活が始まったばかりでこれからどんな方向へ導かれるか予想もつきませんが、いつもイエス様と共に歩み、主に感謝と喜びを持って学院生活を送りたいと思います。そして沢山の人の福音を伝えていきたいです！



鷲津直子  
(新潟県・1年コース)

■ハレルヤ！CFNJ聖書学院で一週間体験入学をさせていただきました。後、4月から入学いたしました。毎朝賛美礼拝から始まる学院で、聖書の学びと訓練の時間が与えられ、突然に神様が下さった恵みに驚き感謝しています。



柳沢哲  
(札幌市・1年コース)

■ハレルヤ！主の導きにより4月からこの学院で若い方と一緒に学ぶ機会が与えられました。毎朝の賛美礼拝や聖書の学びを通して充実した日々の生活を送って行きたいと願っています。



北中芳樹  
(大津市・2年コース)

■ハレルヤ！主イエスの御名を誉めたたえ賛美します。学院での学び、生活(人間関係)を通じて私に必要なさまざまなことを吸収し、より成長した人となることを願います。私を送り出してくれた家族・母教会、そして私の周りの方々に心から感謝しています。主の働きにふさわしく整えられてゆきます。



重田サヤカ  
(神戸市・2年コース)

■神様、いつもみちびいてくれて感謝です。私のペースにあわせて待ってくれたり速足になったり。この学院で私にもっとJESUSを知り、聖霊さまによって愛をもらい、喜んで神に仕えるものになりたいです。



檜森ひとみ  
(札幌市・2年コース)

■ハレルヤ！主をほめたたえ入学への導きを感謝します。主の臨在の中で、熱く力強い仲間たちと過ごす学院生活は恵みと喜びでいっぱいですが、もっとイエス様を愛し深い関係を築きたいです。主に期待し信頼し前進します！



井上 結実  
(大阪・1年コース)

■主に感謝します！主は素晴らしい導きを持って私の学院へ招いて下さいました。私のような者でも！これから学びと交わりの中で主に似た者へと変えられていきたいです。祈って下さった方々に感謝します。



和田ナオコ  
(神奈川県・CMPコース)

■いつも愛して下さる神様に感謝します。神様からの愛をたくさん受け取って、愛を押し流す者へと造り変えられたいです。日々、祈り励まし支えてくださっている家族、教会の皆様、子供たち、友人に、心から感謝します。



菅原園子  
(千葉県・CMPコース)

■私は幼少時代に受ける影響について興味があり、前々から知りたいと切望していました。今回CFNJのCMPコースが始まる事を知り、是非この機会に勉強したいと思いましたが、本当の愛を探し求めているこの時代に、とても大事な事を教わる場を与えていただき主に感謝しています。



笹山麻衣  
(札幌市・2年コース)

■これからの2年間、神様との関係をディープに築き上げ、自分や学院生一人一人の良いところを発見し、神様をもっと賛美しあがめる学院生活を送りたいです。



西岡潤也  
(熊本県・1年コース)

■このCFNJ聖書学院へと導かれた事を感謝します。学院での学びの時は短いものだと思われませんが、多くの実が得られる様に励みたく願っています。また、多くの方々の支えによって立たされている事に感謝します。主の祝福がこしえに地に満ちますように。



西森 美祈人  
(札幌市・2年コース)

■こんにちは。ぼくはくだかれて、誘惑とか、自分に勝利するためにここに来ました。今までは親に反抗したり、中途半端なことばかりだったけど、今度はちゃんとやり遂げたいので4649です！



柳田哲雄  
(宮崎県・ALPSコース)

■主の御名に栄光あれ。北海道CFNJ聖書学院に入学を祝福された神様に感謝。感謝。感謝。入学式の感動。感謝を忘れることなく1年間の学院生活を大いに期待しています。福音の器に成長したい。宮崎の教会、家族に感謝。



山田勝利  
(2年卒・ALPSコース)

■多くの方々の祈りや支えがあつてこのような素晴らしい学びの機会が与えられていることを心から感謝します。一日一日を大切に、イエス様にあつて前進して行きたいです。



古閑学人  
(2年卒・ALPSコース)

■あなたがたに書くべきことがたくさんありますが、紙と墨でしかくはありませんが、あなたがたのところに行つて、顔を合わせて語りたいたいと思います。私たちの喜びが全きものとなるためにです。  
IIヨハネ1:12



グドール・愛里子  
(石狩市・1年コース)

■この学院を通して沢山聖書の事を勉強し、霊的に成長したいです。また勉強だけではなく、アウトリーチや実習を通して、様々な事を経験していきたいです。イエス様とずっと深い関係を作りたいたいです。



村谷忠光  
(小樽市・2年コース)

■天の父なる神をほめたたえます。より多くのことを学院で学ぶことができることに感謝します。



杉田結実  
(札幌市・1年コース)

■ここまで導き、整えて下さった神様を送り出して下さった皆様により感謝します。学びと出会いを大切に、生きる事にも死ぬ事にも神様の栄光を現すための道具に碎かれ、整えられる生活を送りたいです。



山下正洋  
(2年卒・ALPSコース)

■ハレルヤ！アルプスに入学できたことを本当に感謝します。ここにいられることは全て神様の恵みです。真のリーダーシップを養うために、この一年、すべてを主に委ね、自分の十字架を背負い歩んでいきたいです。



篠原明華  
(2年卒・CMPコース)

■主の御名を賛美します！「天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。神のなさることは、すべて時にかなって美しい。」(伝道者の書3章)CMPコースでの新しい学びも主にお大きく期待します。神様に支えてくださる皆様に、心から感謝します！栄光在主





平石有紀子  
(1年修了・CMPコース)

■一週間過ごしただけでも自分の心が愛で満たされ、いやされていくのがわかります。この1年間自分がどうなるのかわくわくしています。しかし恐れずに、神様が選んで召してくださったのですから、自らをささげて新しい命と自由を喜び味わいます。主の御名があがられますように。

**World Prayer and Share Letter**

とりなし手の皆様へ

# 世界のための祈り

ダイアン・グリコ師

## グッド・ニュース!

イスラエルの国営テレビ局の一つが、「イスラエルにいる15,000人のメシアニックジャーについてのも好意的な内容のニュースを作成しました。メシアニック・ムーブメント(イエスを救い主として受け入れているユダヤ人)はこの地でインパクトを与えつつあります!」(1)イスラエルの総人口は703万人で、その内ユダヤ人の血を引く人口は564万人います。この総数は、アメリカに住むユダヤ人人口を上回っています。この人口増加は、イスラエルへ移民するユダヤ人が増えたというわけではなく(わずかながら関連はありますが)イスラエルにおけるユダヤ人人口が増えたことをあらわしています。エルサレム・ポスト(2)によると、新しくイスラエルへ移民した人はほんの「数千名」だそうです。

同じ信仰を持つ兄弟姉妹として、メシアニック・ジャーは私たちの祈りのサポートを必要としています。彼らが人口数においてイスラエルで増えていくなれば、彼らが語るイエシュア(イエス様)の救いの恵みの証しが国中で広がっていくでしょう...救い主の再臨が差し迫っているからこそ。

## トルコでの殉教

トルコ国スミルナにあるプロテスタント教会から全世界の教会への手紙

(スペインへの宣教師ピンス&メリー・カザリンからのレポート)vmcazarin@hotmail.com  
他の情報源: www.persecution.com/contactVOM/index.cfm ("News"をクリックしてください)

2007年4月18日水曜日、「タリカット・グループ」(イスラムの熱心な信者)の若いメンバー10人が、3時間かけてトルコのマラティヤ(アンテオケから北東へ300マイル)で3人\*の牧師、宣教師を拷問にかけて殺したことで「アラア」への愛を表しました。(\*5人というレポートもある)

殉教したのは、3人の子を持つドイツ人宣教師ティルマン・ゲスケ(46)、イスラム教から改宗したトルコ人2人、2人の子を持つ牧師ネカティ・アイディン(35)、ウグル・ユクセルです。

加害者の5人は一週間前に、ネカティ牧師が主催した招待を受けた人だけが参加できる伝道集会に「求道者」として出席していました。この5人と他の5人(いずれも20歳以下)は、イスラム教の邪魔をしていると彼らが思っている異教徒(つまりこの場合、クリスチヤンのこと)に憎しみをぶつけるために、ネカティ牧師がリードする水曜日の朝の聖書研究会と祈りに来ました。

加害者は3人の手足を椅子に縛りつけ、拷問をし、手足を切断しただけでなく、携帯電話のビデオで約3時間撮影し続けました。(詳細を載せるにはあまりにもひどい内容です。)

2001年から、トルコの国家安全委員会は、福音的なクリスチヤンを国家安全を脅かす者(アルカイダや他のテロリストと同列)とみなすことを考慮し始めました。トルコで宣教師への憎悪はエスカレートしつつあります。爆弾や、物理的攻撃、言葉や落書きなどによる暴力、メディア・プロパガンダは同じことを言っています...トルコではクリスチヤンなど歓迎しない、と。

殉教したティルマン・ゲスケの妻サーナ・ゲスケは、テレビのインタビューで赦しを表明しました。彼女は復讐することを望まず、レポーター達に言いました。「神様、彼らをお赦しください。彼らは自分達が何をしているか分からないのです。」あるコラムニストは書きました。「彼女は、千年の間、千人の宣教師達ができなかったことを一言で言い表しました。」

トルコのマラティヤにいる信者は、彼らが迫害に対して堅く立ち、今なお暗闇にいる人々に福音を伝え続けられるよう祈りを要請しています。「私たちは、彼らが迫害に耐え、彼らの救い主に対して誠実であり続けられるよう、イエス様が力をお与えになったことを知っています。」(訴訟は保留されており、具体的な証拠や検視報告はまだ一般公開されていません。)

イエス様は言われました。「からだを殺しても、たましいを殺せない人々を恐れるはなりません。そんなものより、たましいもからだも、ともにゲヘナで滅ぼすことのできる方を恐れなさい。」(マタイ10:28) 悲しむ者と共に悲しんでいる時でも、私たちは、私たちの敵を赦してください。又、彼らが罪を悔い改め、地獄で苦しむのではなく永遠のいのちをもつことができるように祈っていきましょう。

もし、裁きが先延ばしにされているなら、それは神様が悪事を行なう人々に悔い改める機会をお与えになっているからです。敵対する者がイエス様を苦しめたように、たとえ彼らが主の聖徒たちを苦しめていても、神様が義なるお方であり、悪者への裁きを成し遂げられないわけではありません。しかし、永遠の目的を思い、主は罪人にあわれみ注ぐことを大切にしてください。(黙示録2:8-11参照)

#1シーラ・ソーコラム、2007年3月マオズレポートより

# 2007年度 1・2学期 ゲスト・スピーカーのご紹介

●ゲストの授業は聴講無料(席上 献金あり)ですが、コースの授業は有料となります。詳しくは事務局迄お問い合わせ下さい。

インターナショナル・チルドレンズ・ミニストリー学院児童伝道講師。世界各地で用いられる。メキシコ出身。



**アルマ・ベルメホ師**  
●6月11日~15日  
CMP/1・2時間目  
全体/3時間目

メキシコ アミスタ・デ・モントレ牧師。前CFNJ 聖書学院長



**ロドルフォ・ガルサ師**  
●6月25日~29日は  
2・3時間目(全体授業)

全日本リバイバルミッション代表。リバイバル聖書神学校校長



**有賀喜一師**  
●6月18日~22日  
1・2時間目(全体授業)  
3時間目(アルプス)

クリスチャンライフ教会(神の家族)牧師・顧問



**水野明廣師**  
●9月10日~14日  
授業時間は未定

兵庫県高砂市 高砂教会主任牧師



**手束政昭師**  
●9月19日・20日  
1・2時間目(全体授業)  
3時間目(アルプス)

世界的児童伝道ミニスター チェコスロバキア在住



**ジャネット・マッキー師**  
●10月22日~26日  
授業時間は未定



# CFNJ 2007 OUTREACH 2007年 海外アウトリーチ

主の栄光を国々の中で語り告げよ。その奇しいわざをすべての国々の民の中で。 詩篇96:3

■CFNJではこのみ言葉に従って、2年に一度、様々な国々へ海外アウトリーチに行ってきました。今年も神様の導きで、7月にはCFNJのドラマ&ダンスチームと合流して韓国へ、11月にはフィリピンとタイ&ミャンマーへ、それぞれのチームに分かれて行くことになりました。スタッフ学生合わせて総勢36名がこれらのアウトリーチに参加する予定です。皆様もお祈りと献金で共にご参加くださいますようお願いいたします。



ミャンマーの聖書学院の学生達

## 韓国チーム

(アメリカのカレイドスコープチームと共に)

- 人数/9名
- 費用/一人・15万円
- 期間/7月7日~19日

## フィリピンチーム

(バギオ市周辺、教会、学校訪問、路傍伝道など)

- 人数/15名
- 費用/一人・15万円
- 期間/11月26日~12月6日

## タイ&ミャンマー

(教会、聖書学校訪問など)

- 人数/12名
- 費用/一人・23万円
- 期間/11月26日~12月6日